

「敬老の日」おめでとうございます！

畑の片隅に数本の彼岸花を見つけました。昔、私の家の周りは水田と畑がいっぱいありましたので、この時期には あっちこっちで彼岸花が咲き乱れていたのを思い出します。そんな景色に秋を感じていたのに、温暖化の影響で今後少しずつ見られなくなるような気がして淋しく思います。

さて、久玉地区在住で今年度75歳になられる方 既になられている方は 男性261名、女性413名でした。

9月15日・16日に敬老の日のお祝い品として弁当とお菓子をお届けしました。ささやかなお祝い品ですがとっても喜んでいただきました。

尚、内の原区では対象者をやすらぎ荘へ招待し、会食をして楽しいひと時をすごされました。

皆様にはお身体を大切に、お元気で今だからこそ出来ることを楽しんでください。



久振だより

人口2347人
1297世帯
-第197号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和6年10月1日



久玉八幡宮に「鈴木神社」を祀る！

久玉八幡宮石段を登って右側に 立派な石造の「鈴木神社」が建立してありました。

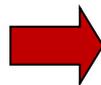
鈴木神社とは、天草初代代官 鈴木重成公と兄で僧侶の正三(しょうさん)二代目代官の重辰(しげとき 正三の子を養子)を神様として祀った神社で 天草市本町にあります。

久玉八幡宮内にも鈴木神社がいましたが、天草島民のため大偉業を成しえた人を神様として祀るには あまりにも質素で偲びないとの思いから 榎田和壽さん(村田区長)が弟たち3人と相談して今年5月に新しく建立されたそうです。

鈴木重成公は天草島原一揆終結から3年経過後に天領となった天草に初代代官として着任しましたが、その頃の天草島民は実際の石高をはるかに超える年貢を強いられその困窮ぶりは大変なものでした。神社や寺はキリシタン一揆で焼かれ、田畑は荒れ果て、焦土となった天草の復興に尽力されました。島民を苦しめてきた重税を減らすため、石高半減を幕府に切腹して嘆願されたのです。

重成公の死後6年目、重辰の代で四万余石といわれた天草の石高が二万一千石に評価替えされました。神社や寺の創建・復興にも尽くされています。(久玉八幡宮、無量寺もそれに含まれます) 天草の人々はその偉業を偲んで祀ったのです。

以前の鈴木神社



現在の鈴木神社

【久玉町芸能文化祭についてのお知らせ】

～作品展示部門～

11月2日(土) 午後1時～午後5時まで

11月3日(日) 午前9時～午後3時まで

3日(日) 午前10時から先着50名の来場者へ
お抹茶のおもてなしを行います。

～ステージ発表部門～

11月10日(日) 1部 午前10時～12時

2部 午後1時～3時

昨年は素晴らしい作品が多く展示され、「すごい！」と感嘆の言葉を多数いただきました。今年も多数出品をお願いします。

※出品については11月2日(土) 午前10時～12時までに
搬入をお願いします！

出品票は振興会に用意しています！



昨年の作品展

☆久玉しろやま文庫☆



十五夜・お団子とお茶を楽しむ！

大型台風10号の通過で心配されましたが、9月1日(日)10時から久玉地区コミュニティセンターでしろやま文庫の「十五夜を楽しむ会」がありました。参加者は小学生3人 地域の方4人 スタッフ5人でお茶とお団子を食べて、おしゃべりを楽しみました。

まず、最初に「十五夜の由来」を聞いてミニお話し会のスタートです。

(月)に関する紙芝居と大型絵本を見て、わらべうた(おつきさまえらいの)を皆で輪唱しました。

「2羽のことり」小鳥の指人形を使った手遊びをしました。指を交互に出して指人形を隠すのは少し難しかったけれど子どもたちは何回か練習すると上手になり、とても楽しかったそうです。月をながめて平和で幸せなことを感謝し、世界の人々も心豊かに健やかにすごせるようにとお祈りしますとの感想もありました。手作り団子もおいしかったです。



大型絵本「パパお月さまとっつ」



紙しばい「おつきさまのおつきみ」



次回のお知らせ 「読んで食べよう！おいものおかし」

10月6日(日) 10:00～11:30

持ってくるもの:お茶、マスク、エプロン、バンダナ

